



永田クラブ
経済研究会
国土交通記者会 へ貼り出し

平成20年8月20日
内閣府(防災担当)

岩手・宮城内陸地震などで被災された皆様の参加も得て、 8月24日にさいたま市にて、 「全国防災まちづくりフォーラム～被災してわかること～」を開催

内閣府、さいたま市及び防災推進協議会が、防災週間の主要行事として共同開催する「防災フェア2008 in さいたま」の催事の一つとして、下記及び別紙のとおり、「全国防災まちづくりフォーラム～被災してわかること～」を開催いたします。

今年のフォーラムでは、発生から70日余しか経過していない岩手・宮城内陸地震を含め、昨年・今年に発生した大規模地震で被災された皆様から、具体的な被災体験、復興に向けた取組みについて、直接お話し頂くとともに、平時、被災時、避難時、復興時のそれぞれの段階で生かされた地域ぐるみの「共助」の活動、知恵・工夫等をお聞きします。

また、これまでに開催された同フォーラムの活動発表会に参加し、お住まいの地域での「防災まちづくり活動」を実践しておられる団体に、地元さいたま市の団体も加わって頂き、日常から地域に根ざした防災まちづくり活動を実践・継続していくための知恵・工夫の大切さ、地域での活動を活発化させるためのヒントについて話し合ってください。

記

1. 開催日時 8月24日(日) 13:00～17:00
2. 開催場所 大宮ソニックシティホール4階 国際会議室(防災フェア会場)
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5(JR大宮駅西口から徒歩3分)
3. 主催 内閣府・さいたま市・防災推進協議会
4. 内容 防災情報ラジオ番組「ネットワーク1・17」プロデューサーの基調講演
昨年・今年の大規模地震で被災された皆様によるリレートーク
地域における活動継続のヒントを導き出すパネルディスカッション
防災まちづくりの輪を拓げる相互交流の時間

【被災地域からの参加者】

宮城県栗原市花山総合支所長	千葉 和俊 氏
栗原市栗駒耕英地区 行政区長	金沢 大樹 氏
くりこま耕英震災復興の会 会長	大場 浩徳 氏
石川県輪島市門前町門前区長(のどらぼち)	ITOKO 会代表世話人会長)
	星野 正光 氏
新潟県柏崎市松美町内会 会長	関矢 登 氏

※ フォーラム終了後には、どなたでも参加できる「相互交流の時間」を設定しておりますので、防災まちづくり活動に携わられる皆様からの知恵を伝授される機会、復旧・復興に向けた被災地支援の輪を拓ける機会、取材の機会等にご活用頂けます。

参加団体等に対する取材については、時間調整等を行う必要がありますので、あらかじめ、取材を希望する旨お知らせ願えれば幸いです。

※ 休憩時間中及び相互交流の時間中に、会場となる国際会議室前ロビーにて、ガラスパワーキャンペーンの協力で、「防災ガラス破壊実演」が実施されます。「自助」に向けて、また、地域ぐるみの防災まちづくり活動に向けて、身近なガラスの違いを体験できる機会ですので、ぜひご参加下さい。

※ 全国防災まちづくりフォーラムを含む「防災フェア」全体の詳細は、次のホームページからご覧頂けます。

<http://www.bousai.go.jp/fair2008/>

※ さいたま市記者クラブにおいて同時発表

〔本件問い合わせ先〕

内閣府政策統括官（防災担当）付

企画官（災害予防担当） 伊丹(いたみ)

Tel 03-3501-6996(直通) Fax 03-3597-9091

全国防災まちづくりフォーラム～被災してわかること～の全体概要

- 開催日時 8月24日(日) 13:00～17:00
- 開催場所 埼玉県さいたま市・大宮ソニックシティホール4階 国際会議室
- 主催 内閣府・さいたま市・防災推進協議会
- タイム・スケジュール
 - 13:00～13:10 主催者あいさつ 内閣府大臣官房審議官(防災担当) 田口 尚文
さいたま市副市長 小宮 義夫
 - 13:10～13:50 基調講演
「防災まちづくりは『わがこと』と『大きなお世話』から」
(株)毎日放送ラジオ局報道部副部長(「ネットワーク1・17」プロデューサー)大牟田 智佐子 氏
(休憩)
 - 14:00～15:30 リレートーク
「被災してわかる日頃からの共助・防災まちづくりの大切さ」
【聞き手】(株)毎日放送ラジオ局報道部副部長 大牟田 智佐子 氏
 - 岩手・宮城内陸地震被災関係者
栗原市花山総合支所長 千葉 和俊 氏
栗原市栗駒耕英地区行政区長 金沢 大樹 氏
くりこま耕英震災復興の会 会長 大場 浩徳 氏
 - 能登半島地震被災関係者
輪島市門前町門前区長(のたらぼち ITOKO 会代表世話人会長)
星野 正光 氏
 - 中越沖地震被災関係者
柏崎市松美町内会 会長 関矢 登 氏
(休憩)
 - 15:40～17:00 パネルディスカッション
「防災まちづくり活動 継続のヒント」
【コーディネーター】(財)建設経済研究所 研究理事 丸谷 浩明 氏
【パネリスト】
 - 平成17年度参加団体
仙台市宮城野区福住町町内会 会長 菅原 康雄 氏
 - 平成18年度参加団体
特定非営利活動法人 災害ボランティアネットワーク鈴鹿 事務局 船入 公孝 氏
 - 平成19年度参加団体
西大和6自治会連絡会 事務局(防災担当) 辻 誠一 氏
 - さいたま市からの参加団体
三橋コミュニティ 役員 清水 恒男 氏
 - 17:00 閉会
 - 17:00～(18:00) 相互交流の時間

主催：内閣府・さいたま市・防災推進協議会

全国防災まちづくりフォーラム

～被災してわかること～

開催日時：8月24日（日）13：00～17：00

開催場所：さいたま市・大宮ソニックシティホール4階・国際会議室
(JR大宮駅西口より徒歩3分)

入場無料：定員180名

◆プログラム◆

○主催者あいさつ 13:00～

○基調講演：「防災まちづくりは『わがこと』と『大きなお世話』から」13:10～
(株)毎日放送ラジオ局報道部副部長（防災情報番組「ネットワーク1・17」プロデューサー）
大牟田 智佐子 氏

○リレートーク：「被災してわかる日頃からの共助・防災まちづくりの大切さ」14:00～
発生から70日余しか経過していない岩手・宮城内陸地震を含め、昨年・今年に発生した大規模地震で被災された皆様から、具体的な被災体験、復興に向けた取組について直接お話し
いただくとともに、平時、被災時、避難時、復興時のそれぞれの段階で活かされた地域ぐる
みの「共助」の活動、知恵・工夫等をお聞きします。

【聞き手】(株)毎日放送ラジオ局報道部副部長 大牟田 智佐子 氏

○岩手・宮城内陸地震(平成20年6月)被災関係者

栗原市花山総合支所長	千葉 和俊 氏
栗原市栗駒耕英地区 行政区長	金沢 大樹 氏
くりこま耕英震災復興の会 会長	大場 浩徳 氏

○能登半島地震(平成19年3月)被災関係者

輪島市門前町門前区長(のとらぼちITOKO会 代表世話人会長)	星野 正光 氏
---------------------------------	---------

○新潟県中越沖地震(平成19年7月)被災関係者

柏崎市松美町町内会長	関矢 登 氏
------------	--------

○パネルディスカッション：「防災まちづくり活動 継続のヒント」15:40～

コーディネーターに、さいたま市民の丸谷 浩明氏・(財)建設経済研究所研究理事を迎えて、過去に開催された「全国防災まちづくりフォーラム」(防災まちづくり活動の相互発表・交流会)への参加団体に、地元さいたま市の「三橋コミュニティ」も加わっていただき、各団体の活動の近況を報告し合うとともに、活動継続の工夫など、防災に役立つまちづくり活動の活発化に向けたヒントを話し合います。

○相互交流の時間

17：00～

休憩時間中及び左記「相互交流の時間」中に、国際会議室前ロビーにて、ガラスパワーキャンペーンの協力で「防災ガラス破壊実演」を実施！

★お問合せ先：防災推進協議会事務局（(財)都市防災研究所）
Tel 03-5218-0880（担当：守、武富）